

## 単元名 平均とその利用

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 平均の意味や求め方を理解し、平均を求めたり、平均から全体を求めたり、それを用いて、長さなどを概測したりすることができる。
- (2) 平均の考えを用いて、身近な事柄について考えることができる。
- (3) 平均を用いることのよさに気付き、進んで平均の考えを用いようとする。

## 標準的な展開例

05040206\_001

【準備等】ブロック、電卓、巻尺

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 単元の学習課題をつかみ、平均の求め方を考える。[p. 150・p. 151]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ グレープフルーツ 1 個から採れるジュースの量を調べる方法を考える。</li> <li>○ 単元の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 大きさのちがう数量がいくつかあるとき、それらをならした大きさを調べていこう。</li> <li>○ 3 個のグレープフルーツから採ったジュースを基に、1 個から採れるジュースの量を考える。</li> <li>○ 3 つの量をならす方法を考え、平均の意味を知る。</li> </ul> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>2～3 平均を求める問題を解く。[p. 152・p. 153]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 0 があるときの平均について考えよう。</li> <li>○ 月曜日から金曜日までの本の貸し出し数が 8 冊、6 冊、5 冊、0 冊、9 冊だったときの、1 日の平均冊数を求める。</li> </ul> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ いくつかの 1 個平均を求めて、全体の量を調べよう。</li> <li>○ 箱に 30 個あるトマトから 4 個取り出したら、160g、158g、158g、164g だったときの、トマト 30 個の重さを求める。</li> <li>○ 「練習問題」に取り組む。</li> </ul> <p>○ 身の回りから、平均が使われているところを見付ける。</p> <p>4 部分の平均から、全体の平均を求める方法を考える。[p. 154]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ グループごとの平均から、全体の平均を求める方法について考えよう。</li> <li>○ 集めたキャップの数が 1 人平均 15 個だった A グループと 10 個だった B グループを取り上げ、両グループを合わせた平均を求める問題に取り組む。</li> </ul> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>5 歩幅を測定し、歩幅を使って概測した距離を求める。[p. 155]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 平均を使って、歩はばを求める方法を考えよう。</li> <li>○ 10 歩の距離の平均を求めて、歩幅を求める。</li> <li>○ 自分の歩幅を計測し、いろいろなところの距離を概測する。</li> </ul> <p>6 単元を振り返り、確認問題に取り組む。[p. 156・p. 157]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「たしかめよう」に取り組む。</li> </ul> <p>○ 単元の振り返りを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジュースを作った経験について話し合わせて関心をもたせる。</li> <li>・ 「ならず」という言葉が捉えられない児童には、ブロックなどを使い、ならずのイメージをもたせるとよい。</li> <li>・ 200mL より多く、250mL より少ないことを予想した上で考えさせる。</li> <li>・ グラフをかかせ、それを基に考えさせたり、説明させたりするとよい。</li> </ul> <p>【評】 平均を求める活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸し出しが 0 冊の日も 1 日と数えて除数に含めることや、本の冊数のような分離量の場合でも平均ならば小数を使ってもよいことを知らせる。</li> </ul> <p>【評】 0 を含む場合の平均の求め方を知ることを通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】 1 個平均から全体の量を求める活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>(15+10) \div 2</math> と計算する児童が多いことが予想されるので、正しい方法との違いを明確にするとともに、A グループと B グループの人数が同じ場合は正解になることを補足するとよい。</li> </ul> <p>【評】 部分の平均から全体の平均を求める活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上から 2 桁の概数で求めさせる。</li> <li>・ 電卓を用意するとよい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ だいちさんの例を参考にして歩幅の求め方を確認させる。</li> </ul> <p>【評】 平均を使って歩幅や距離を測定する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別指導を通して、単元の学習内容の定着を図る。</li> <li>・ 自己評価をし、不十分なところは教科書で振り返らせる。</li> </ul> <p>【評】 問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平均とその利用について、分かったことやできるようになったこと、もっとやってみたい</li> </ul>

○「やってみよう」に取り組む。

ことなどを書かせる。

【 備 考 】

児童は、平均を求める際の基本的な考え方を、第3学年の等分除と関連して学習している。したがって、平均の意味とその計算方法は、児童にとって比較的容易であると考えられる。

最も難しいのは、部分の平均が与えられたときに全体の平均を求める問題である。それぞれの平均をたして2でわっただけでは、必ずしも全体の平均にならないことを、正解と比較して見せることで確実に理解させたい。